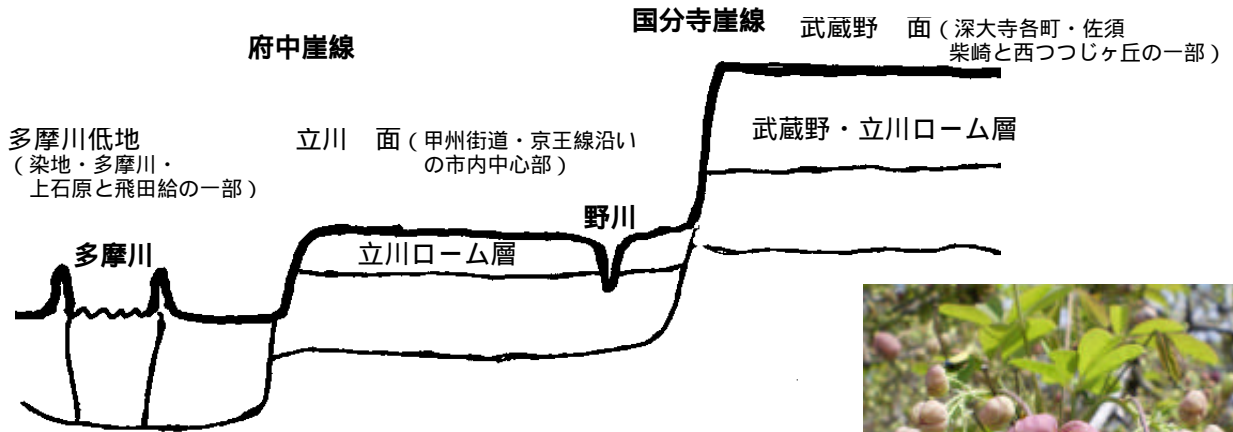


調布市 環境モニター

4月5日、今年度第1回目の「環境モニター」が開催されました。新メンバーを迎え、講師には地元にお住まいの戸部先生をお願いし、調布の地形と自然の概要についてお話いただきました。その後、国領から自然広場（通称カニ山）を目指し、佐須用水沿いに歩きながら自然観察。カニ山の樹林内にはどんな樹木や野草があるか等、植物の説明を伺いながら見ていきました。市内ではめずらしくなったコオニタビラコ（春の七草ではホトケノザとして知られる）が田んぼで満開になっていました。

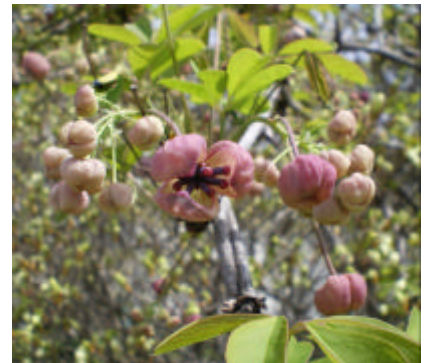
調布地域の地形断面図



道端のアスファルトの隙間にもこんなに可愛いスミレが・・・



春の七草摘みではホトケノザが一番手に入れ難いのではないだろうか。それがこんなに沢山！



佐須地域の用水の柵にからむアケビの花



春のカニ山
色とりどりの新芽や桜の花で遠目にもウツリするような美しさ。市内でこれだけの樹木があるのは植物公園とここだけではないだろうか。

調布市環境モニター は、継続観察と記録によって調布の自然を見守り、自然環境の保全に役立てていこうという活動です。1回ごとのイベントではありませんが、毎回新メンバーを募集しています。植物などの名前を覚えながらちょうふを理解していただける活動です。興味のある方はぜひ環境政策課(042-481-7086)へお問い合わせ下さい。

多摩川今昔

4月の環境モニターでお世話になった地
元生まれの戸部先生に、ちょっと昔の調布
について連載して頂く事になりました。

多摩川の流れ

関東山地を流れ下った多摩川は、武蔵野台地を浸食し、国分寺崖線と多摩丘陵の間を流れながら、東京湾へと注いでいた。といってもそれは数万年前のことで、古代人達はそんな流れの縁で魚や貝を、台地の上の照葉樹林では、木の実やキノコを採り、自然がなすままに毎日過ごしていたことだろう。

そんな古い時代のことはともかく、半世紀ほどまえの子供達は、現代のような遊具もなく、多摩川の流れや河川敷は無限の遊び場を提供してくれる場所だった。その川も半世紀たらずの間に、川の流れはよどみ、河川敷はグラウンドと化し、生き物たちもすっかり変わってしまった。

戦後間もない時代、季節を問わず、毎日多摩川をフィールドとして過ごした小学校の頃。雑木林を切り開いてグラウンド作りをさせられた中学校時代、振り返れば、ずいぶん時間が過ぎ去ったものだが、当時の記憶は鮮明に残っている。

それは、多摩川の多様な生き物とのふれあい。同時に、それを支持してくれた人々の存在に他ならない。興味も関心もなかった植物に関心も持たせた中学校時代の先生。そんな中学生を熱心に指導してくれた大学教授や国立科学博物館の技官との出会いこそが、生涯を通じて生物と触れあっていく運命になるとは夢にも思わなかった。

そんな多摩川の生き物たちの今昔についてシリーズで思い返してみたい。(戸部 英貞)

ちょうふあちこち 若宮八幡

4/25 環境モニター仲間の方から『若宮八幡にニリンソウがたくさん咲いてるよ。調布であんなに群生しているのはめずらしいよ』とお電話をいただいた。若宮八幡は布田崖線の雑木林にあるお宮。少し小ぶりだが雑木林には欠かせない、素晴らしく可愛い花が一斉に開花していました。



カニ山の会

4/12(土)

毎年恒例の春の植物調査班と笹刈班の2班に分れ活動開始。植物調査は目についた植物を全て記録。殆どは昨年見たものだが、葉が1枚だけ出ているものは昨年今年も不明。毎週観察を継続すればいいのだろうが、1ヶ月後に訪れたときはその葉がどれだったかわからなくなっていることもあり、なかなか難しい。

先月樹名札を付け残したものには仮の名札を添付した。

昨年笹刈をした北東部分には沢山のクサイチゴが真っ白な花を咲かせていた。これが全て実ればジャムが作れるのではないかと思うほどで、今後が楽しみ。シュンランは3株だけ記録。見落と

したのか、無くなってしまったのか気になる。

(NK)



人間・樹林の会

4/20(日)方形枠調査と樹林地

内の整備状況を確認しました。マテバシイの広場のマテバシイ5本、下枝の剪定をしたせいか、樹林地内がとても明るくなり空がよく見えました。まだ市民に公開はされていませんが遊歩道も完成し整備されすぎたとの感想もでていました。相変わらずごみの投げ込みなど市民のマナーの悪さが目立つのは残念です。花は、キンラン、シャガ、ウラシマソウ、キランソウ、タチツボスミレ、ツバキなどが咲いていましたが、例年より花数が少ないのは、時期を過ぎたからでしょうか。その他、木皮の荒いヒノキと細いスギの木肌の違いを観察学習しました。

迷いこんできたのかツグミが足を傷つけ横たわっているのを見つけました。かわいそうでなんとかしたいのですが、自然の摂理には逆らえません。この時期とても珍しいとのことでした。ほかに、メジロ、シジュウカラ、ヤマガラ、ヒヨドリ、ムクドリが鳴いていました。来月は、市民への公開を前に、立ち入って欲しくないところへの自由な立ち入りが心証的にできないよう作業する予定です。(安部宝根)



春の多摩川クリーン作戦

環境市民懇談会はワンドを担当



4月13日 朝8時

初めて環境市民懇談会として、多摩川のクリーン作戦に参加。気になっていたワンドの周辺の清掃を担当した。偶然そこにいた男性を交えて5人とやや人数は少なかったが、1時間あまりの作業で、目についたゴミはかなり減ってすっきりとした。昨年の台風で流れてきた物が多いので、草木の下にはまだまだ沢山のゴミが隠れているもよう。

それでも、どんよりした空に反してスッキリとした気分で作業を終えることができた。(NK)

身近な川を見守る会

野川のごきげんうかがい

～水生生物調査～

「身近な川」の会では、野川に生息している生物の種類でその川の水質を調べる活動を春(4月初旬)と秋(9~10月)に行っています。今年は春の到来が早まっていたので3月30日に実施。川の中のごみ拾いも行いました。

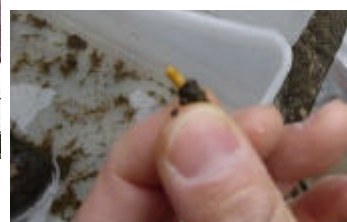
野川上流N1地点(調布地区)では、御塔坂下橋の付け替え工事のため、水量が極端に少ない状態でしたが、意外にもこれまで見つかっていなかったきれいな水に棲む**トビケラ類**が多数見つかりました。

下流N2地点は、佐須地域にある用水が流れ込んでくるため、毎回きれいな水に棲むいきものが多く見つかります。**ヒラタドROMシ**が石の裏びっしりとついているのを多数確認しました。参加してくれた調査のプロ石川さん・宮路さんの解説でこのヒラタドROMシの成虫後の写真や図鑑で新しい発見があり「おもしろかった!」。早速、会で図鑑を購入しました。次回は夏休み中に子どもたちとの「親子エコスクール」を予定しています。(江刺)



生き物の分類

石つぶての巣の中のトビケラ幼虫



工事でできた穴。川の水は「いこいの水辺」の下流側にポンプで落とされていた。

調布の自然



マルタウグイ(コイの仲間)



魚に全く無知な私が魚の紹介をするのも気が引けるが、4月5日、俳優の中本賢さんによる「多摩川塾」というイベントで知った魚。数十年も多摩川近くに住んでいながら産卵の場面を目にしたのは初めて。感激した夫が書いたブログを引用させてもらう。

「昨日の朝、自宅から3分の多摩川は河口から25km地点、そこで初めてマルタウグイのハタキ(浅瀬での産卵、ヘラや鯉に使う専門用語)を見た。鯉ほどの全長で、でかい流線型のマルタウグイがヒレを赤く染めて、ばしゃばしゃと浅瀬に数百匹もいるではないか。土手を歩く人、サイクリングの人たち全員に教えてあげたかった。鯉も悠々と泳いでいて、草むら下ではこれもばしゃばしゃと産卵している。ここは小田急線と

京王線の間。確実に多摩川はよくなっている。地道な努力をしてきたボランティアの人たちに感謝。」(鍛冶)

ウグイと同属だが別種の魚。河口の汽水域に生息するが、沿岸・内湾域にも生息。日本では東京都以北の太平洋側、富山県以北の日本海側に分布。海外ではサハリン、プリムルスキーから朝鮮半島東岸に分布。全長およそ40cm。産卵期に見られる赤い縦条は、上顎直後から胸びれ基底を経て、体側腹方から尾柄にいたる一条のみ。また肩部に三日月型の赤色斑がでる。背びれの基底部分も赤く、他のひれの鱗膜も赤い。追い星は全身に現れる。側線鱗数はウグイやエゾウグイよりも10枚ほど多い。

市民エコ活動カレンダー & おしらせ

全ての会でメンバー随時募集中！

環境モニター

5/3(土) 9:30~12:00

集合場所：多摩川市民広場上の土手

内容：ワンド周辺植物調べ

持ち物：図鑑・筆記用具等

市内の自然環境調べや「調布そぞろ歩き」のガイドを行っているグループです。

カニ山の会

5/10(土) 10:00~12:00

集合場所：深大寺自然広場、野草園横

内容：樹木名プレート付け その他

原則毎月第2土曜に東樹林の保全活動を行っています。参加希望の方は直接集合場所へおいで下さい。

(年会費500円+保険料)

人間・樹林の会

5/18(日) 9:30~12:00

内容：踏み込みが望ましくない区域との境界作製など

集合場所：人間地域福祉センター

原則毎月第3日曜に活動しています。

上記3グループとも

問合せは環境政策課 042-481-7086 まで

環境政策課の窓

早朝から多摩川に大勢の人が集まってきた。4月13日(日)多摩川河川敷で第56回多摩川クリーン作戦が行われた。今年は総勢31団体の方にご参加いただき、悪天候にも係らず盛大なものとなった。この多摩川クリーン作戦は、毎年春、秋に実施しているもので、今年で30年目を迎える。これもひとえに多摩川を愛する市内外の企業、団体の方に支えられたればこそであり、今後とも多摩川の美化にご協力をお願いしたい。

6/7 環境フェアでクリーン作戦感謝のつどい

その感謝の意味を込め、6月7日(土)開催の調布市環境フェアの第2会場グリーンホール小ホールで「多摩川クリーン作戦感謝のつどい」を行う予定となっている。当日は長年ご尽力頂いた団体に対する感謝状の贈呈と落語芸術協会による落語やエコ大喜利を実施予定。また第1会場の市役所前庭では様々なエコグッズやスタンプラリー等、環境に関する理解を深めてもらうための店舗が盛りだくさん。ぜひ皆さん、ご家族連れでお越しください。(環境政策課 小松)

みんなでつくろうあしたの野川

日時 5月17日(土) 13:00~16:00

場所 調布市立調和小学校 体育館

野川流域で活動している市民団体と共に野川流域連絡会の活動報告や意見交換などを行います。

また小金井新橋(武蔵野公園内)その他3ヶ所で9:30に集合し、生き物観察をしながら調和小に集合する企画もありますので、お問い合わせ下さい。【問合せ先】：東京都北多摩南部建設事務所工事第二課 042-330-1845

詳細案内ちらし 調布市環境政策課窓口で配付予定です

編集後記

どこへ出かけても新緑がまぶしい。自然環境保全活動をしている人にとっては目の敵である帰化植物のナガミヒナゲシも花ざかり。友人が「きれいな花だよねえ、あれって雑草なの？丈夫そうだからベランダに植えてみようかな」と言う。またある人は「野川のすてきな菜の花を、今年は食用に摘み取る人が多くてがっかり。」と言う。園芸品種には園芸品種の美しさ、野の花には野の花の美しさ。自然環境への理解を広めて、それぞれの美しさを大切にしたい。一年で一番すてきな季節です。(N)



新環境市民懇談会(仮称)

5/13(火) 18:30~20:30

たづくり 会議室

内容：新環境市民懇談会でなすべきこと

4/23 第1回の準備会が行われ、環境市民懇談会の趣旨や目的、すすめ方について話し合いがもたれました。

この運営会議にはどなたでも参加できます。
資料準備のため事前に調布市環境政策課にご連絡下さい。



「ちょうふ環境市民懇談会」は、調布の自然環境を市民・行政・事業者の協働で保全・改善・回復していくために設立されました。2001年から保全活動の交流・支援、人材育成、情報収集・発信、提言などの活動をしています。ぜひご参加ください。

ちょうふ環境市民懇談会

連絡先:調布市環境保全課 tel 042-481-7086

E-mail: kankyuu@w2.city.chofu.tokyo.jp

~調布市ホームページでカラー版がご覧いただけます~

市公式HP [くらしのガイド](#) 環境 環境学習 自然だより